

所属 国際関係学科	職名 教授	氏名 玉井健	大学院における研究指導担当資格の有無 (有・無)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） 大学院「英語教育指導分析1」におけるWeb上でのティーチング・ジャーナルの導入 学部「英語教育法」及び大学院「英語教育指導分析」における経験主義的指導理念の実践 卒論指導IにおけるJICA（日本国際協力事業団）大阪研修センターへの訪問学習 「専攻英語I」におけるディベートの導入 大学院「英語教育指導分析」学部「専攻英語I」「卒論指導I」「英語教育法」における英語による授業実践	前期 前後期 前後期（3回） 後期 前後期	現職教員である学生に、自身の指導過程を観察し分析させる為の指導日記（journal）をつけさせ、フィードバックを書いて返す指導をWeb上で行った。これは自身の指導記録を取るだけでなく、記録をもとに内省し自己分析を促し、自己理解の発展を支援することを目的としたもので、Web上でファイルを共有しつつ行うことで、共同体の中での内省が可能になった。 教師による知識伝授ではなく、経験をもとに学生が気づきを重ねながら学ぶ指導法の実践。Experiential Learningと呼ばれる手法に基づく授業実践。 異文化コミュニケーションをテーマに、海外との経済協力を進めている政府系機関を見学して他国からの研修生と話し学ぶ機会を持った。 専攻英語講読ではリーディング能力の伸長を目指す、さらに学んだトピックについてアカデミックな議論まで行えるようにするために英語によるディベートを導入した。これにより学生の表現力は飛躍的な伸長を見せている。 国際関係学専攻の学生は、将来仕事で英語を駆使する必要度が高いことを鑑みて日常的に授業を英語で行っている。	
2 作成した教科書、教材、参考書 大学院『英語教育指導分析ワークシート集』		授業用ワークシートの改変を行なった。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 兵庫県立網干高校授業実践と検討 武庫川女子高校スーパーイングリッシュコース連続講演会1 武庫川女子高校スーパーイングリッシュコース連続講演会2	12月16日 10月9日 1月22日	ルールを発見する英文法指導 過程を楽しむ英作文：プロセス・ライティング 社会的活動としての英作文って？：ジャンル・アプローチ	
4 その他教育活動上特記すべき事項 全国英語教育研究団体連合会第65回大会（大分県立爽風館高校）	11月20-21日	福岡県立福岡高校及び大分県立杵築高校の実践研究について指導助言	
II 研究活動			

著書・論文等の 名 称	単著・共著の 別	発行または発表の年 月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
Current Issues and New Thoughts on Reflective Practice	共著	2016年3月	神戸市外国語大学研究所研究年報第53号, 玉井健, Ian Nakamura & Jo Trelfa（編）	玉井健, Ian Nakamura & Jo Trelfa（編）	Pp. 1-186
論文					
Use of epistemological lenses on the ambiguity of reflective practice: What is it to reflect on experience?	単著	2016年3月	神戸市外国語大学研究所研究年報第53号	玉井健, Ian Nakamura & Jo Trelfa（編）	pp. 23-50
学会発表 タイトル	単独・共同の 別	時期	発表場所		備考
実践者による英語教育研究：リフレクティブ・プラクティスをめぐる理論と方法、問題	単独	9月12日	全国高等専門学校英語教育学会第39回研究大会（京都府中小企業会館7階）		招待講演
実践者による質的英語教育研究：Reflective practiceをめぐる理論と方法、その問題点	単独	3月12日	第3回英語教育における質的研究コンソーシアム(QRCEE)		招待講演
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
平成27年11月	全国英語教育学会紀要 査読				